

大丸用水(おおまるようすい)

いなぎをうるおしてきた大丸用水（おおまるようすい）

大丸用水(おおまるようすい)ってどんなの？

稲城（いなぎ）と府中（ふちゅう）の間を多摩川（たまがわ）がながれていきます。

大丸用水（おおまるようすい）はその多摩川（たまがわ）から水を引いて、作られた農業用水（のうぎょうようすい）（※1）です。9本の大きな水路（すいろう）とそれから分かれた約200本の小さな水路（すいろう）を、ぜんぶつなぎあわせると70キロメートルもの長さになります。（ちなみに稲城市（いなぎし）は西から東へ約5.3キロメートル。東京都は約80キロメートル。）

つくられてどれくらいなの？

いつごろつくられたものかはわからないのですが、延享（えんきょう）3年（1746年）の古文書（こもんじょ）に、元禄（げんろく）12年（1699年）以来、大丸用水（おおまるようすい）の修理（しゅうり）が行なわれたことが見られることから、江戸時代（えどじだい）のはじめごろにつくられたと言われています。

武蔵国（むさしのくに※2）の色々なじょうほうを記（しる）した「新編武蔵風土記稿（しんぺんむさしふどきこう）」と言う資料（しりょう）には、こうりつよく色々な所に水をながすために3つの樋（ひ）がつくられたことなどが記（しる）されています。また、この資料（しりょう）から稲城（いなぎ）だけではなく、川崎方面（かわさきほうめん）の村々の田んぼにもつかわれた、だいじな用水路（ようすいろう）だったことがわかります。

また、当時（とうじ）は現在（げんざい）のようなコンクリートなどの技術（ぎじゅつ）がまだなかったころです。多摩川（たまがわ）の洪水（こうずい）で被害（ひがい）が出ると、用水（ようすい）をみんなで協力（きょうりょく）しあって修

理（しゅうり）したり、管理（かんり）をする農民（のうみん）たちの苦勞（くろう）もうかがえます。

その後明治（めいじ）40年（1907年）ごろになると八カ村八カ村（はちかそん）用水組合（ようすいくみあい）（※3）による管理（かんり）で、約400ヘクタールの田んぼに水をみたすほどになるのです。（ちなみに遊園地（ゆうえんち）・ディズニーランドの広さは51ヘクタール。）

今はどうなっているの？

現在（げんざい）の用水（ようすい）の入口は昭和（しょうわ）34年（1960年）につくられたものです。

（場所（ばしょ）は多摩川（たまがわ）にかかる南武線（なんぶせん）の橋（はし）よりも少し上流（じょうりゅう）のところ）

また、その後の宅地化（たくちか）により、水路（すいろ）はうめられたり、どうろなどの下をながれるようになり、数がへってきました。くわえて家庭（かてい）の排水（はいすい）などで、水の汚染（おせん）がすすみ、一時は小魚などの水べの生き物がすがたを消（け）してしまいました。けれども、下水道（げすいどう）の整備（せいび）により、かつてのきれいな水のながれがもどってきました。

そして「光と清流と緑の小径（ひかりとせいりゅうとみどりのこみち）」をテーマに、用水路（ようすいろ）をとりこんだ大丸親水公園（おおまるしんすいこうえん）が昭和（しょうわ）60年（1985年）ごろ整備（せいび）されました。

水と緑にふれあえる散策路（さんさくろ）、小公園（しょうこうえん）、多目的広場（たもくてきひろば）や庭園（ていえん）などの場がつくり出されました。用水（ようすい）には「小魚」や「ましじみ」がふっかつし、親水公園（しんすいこうえん）とあわせて、いこいの場として今も親しまれています。農業用水（のうぎょうようすい）としては水田だけでなく、稲城名産（いなぎめいさん）の梨（なし）の栽培（さいばい）にも現在（げんざい）も利用（りよう）されている大丸用水（おおまるようすい）は、昔から稲城（いなぎ）の人々の生活を支えてくれた大切なざいさんなのです。

ことばのせつめい

※1 用水（ようすい）

飲料用（いんりょうよう）や田んぼや畑以外（いがい）にも、色々な用途（ようと）のために遠くから引いてくる水や、ためている水のこと

※2 武蔵国（むさしのくに）

現在（げんざい）の埼玉県（さいたまけん）、東京都（とうきょうと）（隅田川（すみだがわ）より東の地域（ちいき）と島をのぞく部分（ぶぶん））、および神奈川県（かながわけん）の北東部（現在（げんざい）の川崎市全域（かわさきしぜんいき）と横浜市東部・沿岸部（よこはましとうぶ・えんがんぶ））をあわせた地域（ちいき）

※3 八カ村用水組合（はちかそんようすいくみあい）

大丸（おおまる）、東長沼（ひがしながぬま）、矢野口（やのくち）、押立（おしたて）、菅東（すげひがし）、菅西（すげにし）、生田（いくた）、中野島（なかのしま）の八つの村

参考資料(さんこうしりょう)

- ▶ 稲城市史（上巻）
（いなぎしし（じょうかん））
- ▶ 文化財ノート No.29 大丸用水
（ぶんかざいノート ナンバー.29）
- ▶ いなぎ 文化財案内
（いなぎ ぶんかざいあんない）
- ▶ 大丸水路を歩いてみよう
（だいまるすいろをあるいてみよう）
- ▶ 写真で見る稲城今昔
（しゃしんでみるいなぎこんじゃく）
- ▶ 快適な水辺環境をめざして
（かいてきなみずべかんきょうをめざして）
- ▶ 身近な水辺をとりもどすために
（みじかなみずべをとりもどすために）

リンク集(しゅう)

大丸用水（おおまるようすい）のリンク集（しゅう）です。
さんこうにしてみてね。

マークがあるリンクは、新しい画面（がめん）が開きます。

稲城市（いなぎし）ホームページ

[大丸用水を歩いてみよう](#) 

（おおまるようすいをあるいてみよう）

稲城市（いなぎし）の文化財（ぶんかざい）サイト

[大丸用水－江戸時代の歴史を中心として－](#) 

（おおまるようすい－えどじだいのれきしをちゅうしんとして－）